

国土交通省海事局長

新垣慶太殿

要 望 書

令和7年9月2日

東京都島嶼町村会

東京都島嶼町村議会議長会

伊豆諸島及び小笠原諸島航路の安定的な運航確保に関する要望

平素より、伊豆諸島及び小笠原諸島の振興に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

離島航路は、離島で生活する島民の重要な移動手段として、また、生活物資や農林水産物などを運ぶ輸送手段として、島民の生活を支え、産業振興や観光業などに寄与する重要な航路であり、いわゆる「海の国道」です。

しかし、昨今、船員不足や働き方改革に伴う船員の労働時間の見直し、船舶の老朽化、エネルギーや資材の高騰などが重なり、定期航路の減便が全国で相次いでいます。東京－神津島航路においては、貨客船が長期に亘りたびたび運休になるとともに、高速船にも一部で減便が発生しています。また、貨物輸送に関しても、老朽化による貨物船の廃船により、伊豆諸島全域において運休や減便が生じています。加えて、昨年 12 月には、おがさわら丸において運航中に係船機器が故障し、多くの乗客及び荷物を運ぶ予定であった次便が、急遽欠航の事態になりました。

船の減便や運休、欠航は、島民の生活や医療、物流、産業、島を訪れる観光客等に多大な影響を及ぼします。島民からも、従前の運航ダイヤに戻してほしい、との声が上がっています。この状況が今後も継続することにより、各島の人口減少や産業の衰退を招いてしまわないよう、早急に必要な対策を講じる必要があります。

つきましては、離島航路の重要性並びに離島航路が島嶼地域の産業経済に及ぼす影響の大きさに鑑み、下記の支援についてお願い申し上げます。

記

1. 離島航路の安定運航に向けた支援について

離島航路を安定的永続的に運航していくために船員の確保は必要不可欠であるが、船員不足は全国的に恒常的な課題であり、離島航路事業者による取り組みには限界があることから、国において実効性のある船員の確保・育成策を講じること。

2. 離島航路運営費等補助金の拡充について

我が国の領域保全及び排他的経済水域確保など、重要かつ国家的役割を担っている離島に暮らす島民の生命線である離島航路を維持するため、全ての対象航路に対して離島航路運営費等補助金の所要額を確保すること。

また、補助金算定方法や算定基準の見直し、1島に複数航路あるとして補助航路に位置付けられていない航路の補助対象化など、離島航路運営費等補助金の制度拡充を行うこと。

3. 離島航路の定期船長期離脱時の代替船の確保について

離島航路の就航船舶が、ドックや事故・故障等により長期間の運休を余儀なくされた際には、迅速に代替船を確保できるよう、国の主導による包括的な支援体制を構築すること。

東京都島嶼町村会

会長 前田 弘

東京都島嶼町村議会議長会

会長 山本 忠志

大島町長	坂上 長一
利島村長	村山 将人
新島村長	大沼 弘一
神津島村長	前田 弘
三宅村長	山高 亜紀子
御蔵島村長	徳山 正彦
八丈町長	山下 奉也
青ヶ島村長	佐々木 宏
小笠原村長	渋谷 正昭

大島町議会議長	鶴崎 勝彦
利島村議会議長	加藤 大樹
新島村議会議長	木村 諭史
神津島村議会議長	石田 隆美智
三宅村議会議長	谷 寿文
御蔵島村議会議長	栗本 道雄
八丈町議会議長	山本 忠志
青ヶ島村議会議長	菊池 正
小笠原村議会議長	池田 望